

## 話し合いのパレット

中 一

僕たち人間はみんなそれぞれ、心があり感情があり、意見をもってしている。その心や感情、意見は、一人一人違っていて、これが正しいとか、これは間違っているとかは決してない。誰かが誰かの心を壊したり押さえつけたり、無視したりすることは絶対にはいけない。しかし、クラスやグループで何かを決めるときには、一人一人の意見をまとめなければいけないこともある。

小学校五年生のとき、僕は学級会で司会になり、会の進行やまとめの役割になった。その時の僕は、自分ではできるところを見せたかったため、できるだけスムーズに早く終わらせようと、積極的に発言をする人の意見しか聞かなかつた。僕は、発言をしないでいる人の大事な意見を見捨ててしまったのだ。

会で決まったレクの当日。いつものようにレクは盛り上がった。しかし、一部の人がつまらなそうにしていた。そのとき僕は、話し合いをしてい

たときの風景を思い出した。その人たちは話し合いで、周りの人の雰囲気や意見を言うことができなくなっていたことを。その人たちに話を聞くと、遊びにたくさんの工夫をつけ加えていたり、新しいルールを考えていたりしていた。その瞬間、僕は意見を言えなかった人たちにも、たくさんの考えや思いがあることを知った。話し合いのときにそのことに気付いていれば、レクの内容がもっととよくなっていたかもしれない。その友達も心から楽しめたかもしれない。

声をあげない人にも、気持ちや思いがある。その人の声に耳を傾ける。大声で主張する人だけでなく、物事を進めたいけない。そのような気持ちでみんなが話し合いに臨めば、新しい気付きや発見が生まれて、よりよい考えにたどりつくことができるだろう。

今までの自分を振り返ってみると、クラスの中で積極的に意見を言っていた僕は、クラスの中心となつていく気になつて、周りの人の意見や思いに気付くことができなかつた。

僕たち人間は、人と関わっていく中でたくさんの意見を交わしている。ときには、意見がまとま

らないこともあると思う。しかし、僕は小学校の学級会の経験から、答えは一つだけでなく人の数だけたくさんあり、人の意見が無限の力をもっているということを知ることができた。個人がもつ心や感情や意見を全く同じように一つにまとめることはできないけれど、一人一人が他の人の心に寄り添い、感情を分かち合い、互いの意見に歩み寄っていくことが大切だと思う。絵画で使うパレットの中で混ざり合う絵の具のように、一人一人の色を重ねて、温かい色を作っていきたい。